

《 図鑑よりも
体験は面白い 》

池の中から 春の兆し ニホンアカガエルの卵をさがそう

国営ひたち海浜公園では、2月16日(日)～3月29日(日)の日曜日に、期間限定の特別ツアー「ニホンアカガエルの卵をさがそう」を開催します。多様な動植物が生息する“生き物の宝庫”沢田湧水地をフィールドに、寒い時期に産卵する「ニホンアカガエルの卵塊」を探す期間限定の体験です。池の中に産み落とされた卵や、おたまじゃくしが泳ぐ様子は、花のまだ少ない園内で春の兆しを感じさせてくれます。



開催風景 撮影/2019年3月17日

◆期間限定の特別ツアー

ニホンアカガエルは、平地から丘陵地にかけての明るい森林、池・沼、水田周辺の草むら、湿地などに生息するカエルで、大きさは35mm～70mm程度。厳冬期に冬眠を中断し、水辺に現れ繁殖行動を行います。本ツアーでは、普段は立ち入ることのできない自然保護区を公開し、間近で生き物の命の営みを観察することができます。

- 日時/2月16日(日)～3月29日(日)の日曜日 10:00～12:00
- 場所/沢田湧水地 ■申込/当日受付(ネイチャーハウス10:00集合) ■定員/10名
- 参加費/無料 ■雨天/中止 ■協力/茨城生物の会、沢田湧水地パートナー

◆やさしく触って。ニホンアカガエルの卵

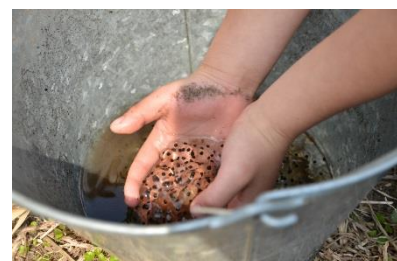
ニホンアカガエルの卵は、ひとつひとつの黒い卵核がゼリー状の丸い卵のうに包まれ、卵塊を作って水中に沈んでいます。産み落とされたばかりの卵は“ブルブルン”で、時間が経つと徐々に崩れていきます。図鑑や写真ではわからない、ぜひ子どもたちに体験してほしい触感です。

◆卵塊の数から生息数を推定

水田の乾田化により生息場所の減少が危惧されているニホンアカガエル。沢田湧水地では、生物多様性の指標として「沢田湧水地パートナー」の皆さんにより、平成28年度よりニホンアカガエルの産卵調査を行っています。調査結果は、6月に当公園で開催される「環境シンポジウム」で発表したほか、「茨城生物の会」の会誌「茨城生物 第39号(2019)」に掲載されました。



スライドを使った説明 (2019年2月24日撮影)



ニホンアカガエルの卵 (2019年3月17日撮影)

Information

スイセンの丘で早咲きスイセンが
ぽつぽつと咲き始めました。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>